

板谷波山生誕 150 年記念展覧会のご案内

板谷波山の陶芸 ～麗しき作品と生涯～

2022 年 4 月 16 日 (土) ～ 6 月 19 日 (日)



会場 展覧会第Ⅰ会場 しもだて美術館（筑西市丙 372 アルテリオ 3 階）
展覧会第Ⅱ会場 板谷波山記念館（筑西市甲 866-1）
展覧会第Ⅲ会場 廣澤美術館（筑西市ザ・ヒロサワ・シティ）

開館時間：午前 10 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）

休館日：毎週月曜日

入館料：【しもだて美術館・板谷波山記念館】※2 館共通入館券
一般 1,000 円／高校生以下無料／団体（10 人以上）800 円／
毎月第 3 日曜日「家庭の日」（4 月 17 日・5 月 15 日・6 月 19 日）
は高校生以下のお子さん連れのご家族は無料
【廣澤美術館】
一般 1,000 円／大学生・高校生 700 円／中学生 500 円／小学生
以下無料
※互いの半券チケットの提示で、入館料を 200 円割引
※障がい者手帳などをお持ちの人と付き添いの人 1 人は無料

市内に住所を有する小中学生のみなさんを対象に「しもだて美術館・板谷波山記念館」の無料鑑賞券を、学校を通じて配付します。小中学生 1 人と付き添い 2 人が無料で入館できます。

市外の小中学校に通学している児童・生徒のみなさんについては、しもだて美術館にお問い合わせください。

主催 筑西市
協力 公益財団法人波山先生記念会
廣澤美術館
主管 筑西市板谷波山生誕 150 年記念事業実行委員会

各会場の詳しい開催情報は、次ページをご覧ください。



文化のまち筑西が生んだ

陶聖 板谷波山

生誕 150 年

陶芸家として初の文化勲章受章者

陶芸家・板谷波山は、明治 5 年（1872）3 月 3 日、下館（現筑西市）に生まれました。

昭和 28 年（1953）に、陶芸家として初の文化勲章を受章し、昭和 29 年（1954）には、日本画の横山大観とともに茨城県名誉県民の第 1 号となります。

波山は、理想の作品づくりのために一切の妥協を許さないという強い信念により、端正で格調高い作品を数多く手がけました。その一方で、故郷のまちと人々をこよなく愛し、共に信頼し、共感しながら生きていくことを大切にしたい人物でもありました。

令和 4 年（2022）3 月 3 日、わがまち、そしてわが国の至宝でもある波山は、生誕 150 年を迎えました。

現在、自然災害や新型コロナウイルスの影響により、人々が将来に不安を感じています。そのような時代にこそ、波山の作品に表現された美と祈りの世界に癒され、そして、波山の優しさでユーモアにあふれた人生に触れることが必要ではないでしょうか。

市では、板谷波山生誕 150 年を記念し、波山の選りすぐりの名作を一堂に集めて展示します。併せて、波山を生んだ筑西の文化的土壌や波山のひとりとなり、故郷の人々との交流などを、イベントや関連展示を通じて紹介します。

陶芸界の至宝

「板谷波山先生」

生誕 150 年記念事業への誘い



本年、筑西市が誇る陶芸界初の文化勲章受章者、そして、本市の名誉市民である板谷波山先生の生誕 150 年を迎えました。

終生変わることなくふるさとを、そしてふるさとの人々を愛した先生の姿を、もっと多くのみなさんに知っていただくため、この度、記念事業を展開する運びとなりました。

しもだて美術館・板谷波山記念館・廣澤美術館、3 館での貴重な作品展示や各イベント会場でのさまざまな催しを通し、先生の作品や「人間・板谷波山」の魅力を知っていただき「波山の世界」を存分に味わっていただきたいと思っています。

先生の足跡をたどりに、ご家族やご友人と、ぜひ会場にお越しください。お待ちしております。

板谷波山生誕 150 年記念事業実行委員会

実行委員長 須藤 茂



展覧会第Ⅲ会場 廣澤美術館

初公開・波山コレクションの傑作に出会う

建築家・隈研吾氏設計による廣澤美術館では「彩磁珍果文香炉」や「彩磁落葉文大花瓶」など、波山の華麗な彩磁の名品約 50 点を初公開します。

また、美術館を囲む名庭園「つくは野の庭」(万葉集研究者 中西進氏命名)も併せてお楽しみください。



【問】廣澤美術館
☎45-5601



彩磁珍果文香炉 (廣澤美術館蔵)
大正 14 年 (1925)



彩磁落葉文大花瓶 (廣澤美術館蔵)
明治 44 年 (1911) 頃

まちなかイベント情報

波山の生誕 150 年を祝う 2022 年、波山と出会うことができるのは、美術館や記念館だけではありません。市内各所に設けられた会場をめぐり、波山を立体的に感じ取ってください。

主なイベント

トークショー「波山のタベ 特別編」榎木孝明さんを迎えて
4 月 29 日 (金・祝) 午後 2 時～ 会場：アルテリオ集会室 応募：往復はがきでもだて美術館へ (4 月 8 日 (金) 必着)

波山の生誕地を歩く

波山ゆかりの地を案内人とともに
案内役：一木努さん (下館・時の会代表)
要事前申込

ギャラリートーク

しもだて美術館・板谷波山記念館・廣澤美術館で開催。
詳しくは、各館のホームページでご確認ください。

道の駅グランテラス筑西：福島会津物産展

波山ゆかりの福島会津から美味しいもの大集合
5 月 26 日 (木) ～ 31 日 (火)

道の駅グランテラス筑西：陶芸作家作品展

地元ゆかりの作家 6 人の作品展
6 月 16 日 (木) ～ 21 日 (火)

HAZAN マルシェ

波山が愛した筑西市のいいもの・美味しいものが勢揃い！
5 月 3 日 (火・祝) ～ 5 日 (木・祝)
会場：アルテリオ前広場

スタンプラリー

展覧会期間内に、しもだて美術館、板谷波山記念館、廣澤美術館、道の駅グランテラス筑西の 4 か所を巡るスタンプラリー。達成者に波山生誕 150 年ロゴマーク入り限定トートバッグをプレゼント (先着 1,500 人)。

生家で作品鑑賞会

波山の生家で、学芸員の解説とともに波山が作陶した茶碗を鑑賞。会場：板谷波山記念館 要事前申込

★ 新型コロナウイルスの影響により、イベントの日時や詳細が決定していないものがあります。しもだて美術館のホームページで随時最新情報を更新しますので、ご覧ください。



展覧会第Ⅰ会場 しもだて美術館

波山名作選～作品誕生の背景を追って

波山陶芸の特徴は、東洋の古陶磁がもつ鋭く洗練された造形を骨格として、そこに 19 世紀末西欧のアール・ヌーヴォーという優雅で官能的な装飾性を加えた東西の工芸様式を、見事に融合させたところにあります。完璧までに研ぎ澄まされた波山の器は、時を越えて神々しい光を放ち、見るものを静寂の世界に誘います。

しもだて美術館では、波山のふるさと筑西に残るコレクションだけでなく、出光美術館 (東京都) の名品選、国立工芸館 (石川県)、MOA 美術館 (静岡県) などから、珠玉の波山作品を一堂に集めて展示します。



彩磁紫陽花文様花瓶 (個人蔵)
大正 4 年 (1915)



国指定重要文化財
葆光彩磁珍果文花瓶 (泉屋博古館東京蔵)
大正 6 年 (1917)

展覧会第Ⅱ会場 板谷波山記念館

心はいつもふるさとに

波山は青年期に故郷を離れ、陶芸家として東京の田端を拠点に活動します。生涯のほとんどを東京で過ごす中、故郷への想いは終生変わることはありませんでした。

展覧会では、故郷の 80 歳以上のお年寄り全員に贈られた「鳩杖」と、日中戦争・太平洋戦争の戦没者遺族に贈られた「観音聖像」を、記念館最多となる 60 体以上展示します。その他、田端の工房の再現展示や記念館初の試みとして、国指定重要文化財をはじめとする名品を 4K 映像で紹介します。

知られざる「人間・板谷波山」を、語り継がれるエピソードと共に楽しみください。



【問】板谷波山記念館
☎25-3830



戦没者遺族に贈られた白磁観音聖像



80 歳を迎えたお年寄りに贈られた鳩杖